



# アメイジングガーデン・浜名湖 (静岡県)

第1回(2019年)登録  
浜名湖ガーデンツーリズム推進会議

日照時間が長く、温暖な気候の浜名湖周辺は、年間を通じて花卉栽培が盛んな全国屈指の花の産地です。  
静岡県西部地域に点在する花の公園と日本庭園では、アメイジングガーデン・浜名湖として地域一体で「感動」を演出しています。

## 楽しみ方の選択肢が多彩

浜松・浜名湖エリアでは至るところに花が咲き、公園や庭園それぞれの物語・美しさで訪れる人を魅了します。また、グルメ、温泉、サイクリングなどのアクティビティを組み合わせる滞在型で楽しめるエリアとしても人気を集めており、遊覧船やロープウェイなど楽しみ方はいろいろ。浜名湖ガーデンツーリズム共通入場券(3施設入場可能、2日間有効)を使って、花の見どころをお得に巡るのもおすすめです。

### POINT1 4~5月のおすすめルート

1日目は「加茂荘花鳥園」からスタートし、「小國神社」で参拝後、ことまち横丁でランチ。「龍潭寺」を経て舘山寺温泉泊。2日目はロープウェイも楽しみ、桜、チューリップ、藤の名所「はままつフラワーパーク」へ。「浜名湖ガーデンパーク」のネモフィラを鑑賞し、「浜松城公園・松韻亭」で締めくくり。

### POINT2 6月のおすすめルート

1日目は「龍潭寺」からスタート。「はままつフラワーパーク」で花菖蒲を楽しむ「浜松城公園・松韻寺」を巡って浜松市内泊。2日目は広大な土地に多品種のユリが咲き誇る「可睡ゆりの園」へ。小國神社ことまち横丁でランチ後、「加茂荘花鳥園」でアジサイ観賞。

### POINT3 年間を通じておすすめルート

気軽に楽しむなら「浜松城公園・松韻亭」からスタート。浜松城の天守閣や石垣も見どころ。「はままつフラワーパーク」では人気の温室や噴水もぜひ。「龍潭寺」では庭園はもちろん、井伊家の歴史的遺物も必見。最後は多くの人を魅了する庄屋屋敷も見事な「加茂荘花鳥園」へ。

## History 園芸のルーツは江戸時代

浜松市は、江戸時代中期に生産が始まった「遠州苗木」の産地です。植木や盆栽をつくる庭師の技術育成も行われてきました。また井伊家の菩提寺・龍潭寺は「庭の寺」と呼ばれた、彦根龍潭寺の本寺であり、小堀遠州が彦根藩二代藩主・井伊直孝の命で造った庭園(国の名勝)で知られています。こうした歴史的背景をもつ浜松・浜名湖エリアでは、今も園芸が盛んです。ガーベラは生産量日本一を誇り、ほかにもフリージア、スイートピーなど多種多様な花を栽培しています。年間を通じて花との対話を楽しんでみませんか。



### 浜名湖花フェスタ

「日本の春は浜名湖から」をテーマに2015年から開催。はままつフラワーパーク、ネモフィラで有名な浜名湖ガーデンパークなど15カ所を「花のラリー」としてつなぎ、多くの来場者を楽しませています。



### 花めぐり集印帳

季節の花と庭園の見所ポイントをまわり、花のスタンプを集める「花めぐり集印帳」を販売中。アメイジングガーデン・浜名湖の7施設をはじめ、浜名湖花フェスタの参加施設でスタンプを集めてみませんか(18カ所、26種類)。販売期間2月1日~6月30日



### 庭園メディアおにわさんとの連携企画

全国1100カ所以上の日本の庭園を紹介する庭園メディアおにわさん(浜松市出身)と連携してツアーを企画。2020年度は浜松在住の女優・熊谷真実さんとのコラボによりオンラインで動画配信を行いました。



## Area

## 文化、芸術、技術のまち

「日本の二の舞」といわれる浜名湖畔を中心に栄えた歴史・文化をもち、海・平野・山の幸が魅力です。湖北五山(初山宝林寺・龍潭寺・方広寺・大福寺・摩訶耶寺)や、遠州五名園(本興寺・龍潭寺・大福寺・摩訶耶寺・長楽寺)など、見どころが点在。一方でオートバイや音楽のまちとしても知られ、文化や芸術、技術などさまざまな要素から多様な人が多様な楽しみを見つけられる場所でもあります。グルメでは特に餃子やうなぎが有名です。

一言お願いします!

手前味噌ながらおすすめしたいのは、世界一美しいともいわれる、桜とチューリップの庭園、そして藤。ぜひ実際に見ていただきたいです。花と緑あふれる美しい庭園で、心豊かな時間を堪能してください。



浜名湖ガーデンツーリズム推進会議  
理事長 塚本こなみ さん

詳しくはこちら

<https://amazing-garden.jp/>

